

【No.19】		《本単元について》 ・新たに開発 <b>継承(改善)</b> * 該当するものに○	
【入新井第四小 6年】		【単元名】 「入四発！快適な夏を大田区へ」 (全35時)	
目 標		○企業の方々と連携し、熱中症対策(自分の心と身体の健康)を広めようとする活動を通して、熱中症に関する知識や、他者と話し合っよりよいもの考える技能(対話力)、相手に分かりやすく伝える技能(発信力)などを身に付ける。 ○新たな価値を生み出す創造力や、実現させるために筋道立てて考える力(論理的思考力)を養う。 ○関係者の評価等を受け止めて取組を振り返り、自分や他者の生活をよりよいものしていることに気付き、今後の生活や学習に活用しようとする態度(心)を養うようにする。	
教科(削減時数)		国(7) 社(2) 算(5) 理(0) 音(0) 図(2) 家(2) 体(2) 外(0) 総合(15)	
領 域		・ものづく'ア ・地域の創生	
◇主たる授業パートナー [注] ①(年) ②(★)		◇花王株式会社 ①(2年) ②( )	
学習過程(時数)		主な学習活動	
学 習 過 程	コンセプト (5)	・花王から「熱中症対策サポーター」になり、人々の健康に携わって欲しいという願いを聞く。 ・コンセプトの意味を理解する。 ・花王の企業理念や人々への願い、熱中症に関する情報を収集し、分析する。 ・自分たちがデザインするものや取組のコンセプトを考える。 ・実現させるための学習計画を立てる。	
	デザイン (15)	・自分たちのコンセプトに基づき、課題をよりよく解決するものや取組について考える。 ・プレゼンテーションを作成し、発表に向けた準備を行う。 ・発表内容について、連携企業の専門家からフィードバックを受ける。 ・フィードバックを基に発表内容を修正する。	
	クリエイション (15)	・修正したプレゼンテーションを行う。 ・自分たちで考えたものや取組を実現させる。 ・学習を振り返り、学習したことを価値づけたり、自分たちのの成長を確かめたりする。	
振 り 返 り	観 点	成 果	
	◆児童にかかわること (目標に掲げた資質・能力にふれて)	課 題	
	◆授業づくり (学習過程 体験や学習活動 ICT活用) ◆外部連携等 (パートナーや協力者、校内体制等)		

\* [注] \*①(パートナーとの継続年数)

\*②ポータルにつながる申請等で授業支援事務局の連携支援や打合せ同席等を受けた場合(★)

○ 本シートは教育課程の「おたの未来づくり」の「単元計画シート」に対応する「単元実践シート」です。教育課程補助資料として提出した単元計画に変更がなければ、その部分を転載してください。

○ 学期に一回訪問し授業づくりの進捗状況や授業の様子などをもとに授業の充実にむけ相談をしたいと思います。そのため本シートにご記入いただき 毎回の訪問前にエリア担当の専門員に送付ください。